

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCM121	TCM_医療事務基礎 I	
科目名（コード）	TCM121	TCM_医療事務基礎 I	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位60
授業担当者	日本病院管理教育協会	時間数	
成績評価教員	日本病院管理教育協会	講義期間	春期
実務者教員	殿岡 綾子	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。		講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療事務の役割を学び、正確な診療報酬明細書作成が行えるようになる。基本的診療報酬明細書作成から応用まで、正確な療報酬明細書が作成できるようになる。
全体の内容と概要	医療事務の役割、医療制度の概要、診療報酬各項目の名称、点数算定方法、請求の流れを学び、診療報酬明細書を作成する。テキスト、プリントを使い、正しい診療報酬明細書の作成の仕方を学
授業時間外の学修	テキスト・プリントの復習を行うこと。
履修上の注意事項等	項目ごとに授業を進める為、欠席すると診療報酬明細書が作成できなくなってしまうので注意する。電卓を用意すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医療事務の役割・医療保険制度を理解する	・医療事務の役割 ・診療報酬明細書について ・医療保険制度 ・保険の種類や請求先について
2	初診料	・初診料 ・時間による加算について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
3	再診料	・再診料 ・外来管理加算について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
4	医学管理等	・医学管理等 ・特定疾患療養管理料、薬剤情報提供料 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
5	在宅	・往診料、在宅訪問診療料について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
6	投薬料	・薬の種類について ・薬剤の計算方法について ・処方料、調剤料、調剤技術基本料について
7	投薬料	・演習問題〔基本・応用〕 ・診療報酬明細書作成
8	注射料	・注射の種類について ・薬剤料、手技料算定方法 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
9	1～8の内容を復習し、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本・応用〕 ・診療報酬明細書作成
10	処置料、手術料、麻酔料	・処置料 ・創傷処置、熱傷処置 ・手術料 ・麻酔料
11	検査料	・検体検査判断料、実施料、採血料 ・検査の種類や名称について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
12	画像診断料	・画像診断料 ・フィルム料 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
13	演習問題により、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本・応用〕 ・診療報酬明細書作成
14	演習問題により、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本・応用〕 ・診療報酬明細書作成
15	演習問題により、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本・応用〕 ・診療報酬明細書作成

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	診療報酬請求の実務・演習 ・医科診療報酬点数表 ・その他随時プリント配布
参考文献・資料等	適宜配布
備考	木曜日 1, 2 限 ・本講師は、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。本校での実務者